



三笠市にある旧北炭幌内炭鉱幌内立坑構。4月22日(日)のシビックプライドDAYでは、そらち炭鉱の記憶マネジメントセンターの吉岡宏高先生に「炭鉄港」のお話を詳しく伺います。



北村郷土資料コーナー「北村の記憶」展示より、松の枝と松ぼっくりを燻して網焼きにした羊肉。いい香りが肉にうつって燻製のような味わいが想像されますね。機会があればぜひみなさんも試してみてください!

4月はボクの誕生月だワン!



平野ハチ吉
ゴールデンレトリバー
オス・2歳

のまちの色々なエピソードに気づくことができそうです。まさしく今の私達は自分達のまちの歩みを全然知らないのかもかもしれません。それは言い換えると自分達のまちの価値や可能性に気づけないとも言えるのかもかもしれません。このシビックプライド探求部を始めたきっかけは、実は私自身の無知を認めたこんな想いがスタートだったのです。

今現在を点としてまちの未来を見ようとしても根拠あるイメージは湧きませんが、自分達の地域の歴史を紐解き、その歴史と現在を軸とした延長線上にまちの未来を考えることができれば、それは理に適った地域戦略になりうるはず。だからこそ、少しでもまちの歴史やその側面を知ることが楽しいと感じてもらい、一緒に学んでいける人を増やしていけたらと思っています。

そこで唐突ですが最後に告知です。実は4月22日(日)に朝10時から夕方5時近くまで、この様な知り気つきを楽しめる「岩見沢シビックプライドDAY2018」岩見沢再発見!おもしろセミナー」を開催します。第一部は「歴史的なお話」を抽出して簡単に紹介させていただきます。第二部は是非連載で詳しくご紹介したかった「炭鉄港」の事を、第一人者である吉岡宏高氏に教えていただきます。そして第三部は前号でご紹介した辻村家のごとを、辻村家資料研究会の方々の専門的意見をいただきながら紐解きます。更に第四部では番外編として人と地域の自己肯定を共通項とし、未来を担う子どもたちの育ちに関する話題を岩見

岩見沢の「へえ〜!」を探して

グリーンランド遊園地前、まっすぐな一本道のポプラ並木は、今や岩見沢を代表する風景となっています。



開拓時から沢山の石器等が出土していたとか! また、現在の観音車付近には坊主山という小さな山があって、その山は岩見沢駅操車場から志文駅へ貨物輸送の線路が敷設される時の土取り場として切り崩されてしまっ、現在の様になってるらしい。あと、今のリフト乗り場周辺には競馬場があったんですって!へえ〜ですよね。



CivicPride探求部!

それいけ!岩見沢

まちの誇りを見つけに行こう!

※写真撮影協力/辻村邸



文:平野 義文

岩見沢CivicPride探求部
主宰、そしてハチ吉くんの
パパさん



北村では、樺戸集治監による脱獄囚の見張り地の役割を担いながら、壮絶な湿地帯である泥炭を克服して現在の素晴らしい農地があります。また、冬の貴重な副収入として早くから綿羊の飼育を始め、大正13年より羊毛を使用した純国産ホームスパン(糸の太い手織りの毛織物)の生産が行われ、それらは天皇に60着分も納入するほどの高い評価を得ていたとか。

更に大正13年には北村で「羊肉料理法」というパンフレットを作成しており、そこで紹介されている「羊肉の網焼き」と、昭和2年に東京で紹介された「成吉思汗鍋(じんぎすかんなべ)」には類似点があり、もしかしたら「日本の成吉思汗鍋発祥の地は岩見沢市北村だ!」という事も言えるのかもしれない。残念ながらその真相はわからないのですが...

余談ですがこの羊肉の網焼きは、羊の臭みを抑えるために、松の葉や、松ぼっくりを燻して網焼きする調理法(次頁画像見参照)が紹介されており、是非、何かの折に試してみたいと思わされます。更に、「羊肉の連眼揚げ」や、「羊肉のすき鍋」などのレシピもあるらしく、これらの開拓からのストーリーを整理していけば、北村地域の名物として即戦力として復活可能と感ぜますよね。

「これら北村のことは、北村環境改善センターにある北村郷土資料コーナー」北村の記憶」で詳しく知ることができそうですので、是非足を運んでみてください。

この様に少しだけ地域の歴史に興味を持ち始めると、事あるごとに自分達のまちの色々なエピソードに気づくことができそうです。最後に第五部は一日のまとめとなります。詳しくはチラシをご覧ください。ぜひと思つのですが、どれか一部だけでも、一日中聞いてくれても構いません。冷やかしか大歓迎ですので、是非多くの人と岩見沢の未来の価値に思いを馳せることができればと思っています。

さて本当の最後に。論語では「道(みち)に聴(き)きて塗(ぬ)みち(に)説(と)くは、徳(とく)を之(これ)に棄(す)つるなり。」と言っています。聞きかじりで安易に物事を語っちゃいけないよ!と解釈できると思うのですが、まさしく私はこの教えに反することばかりです。この連載も、いわば聞きかじりでご紹介しているだけなので、どこかで孔子に出会ったらきつと叱られることでしょうか(笑)。しかしこれらを機に、少しでもまちの事に関心を持ってもらえる機会が増えたら叱られても報われます。またどこかでお会いできることを楽しみにしつつ、私自身、聞きかじりでお伝えできることを貯めていきたいと思っています。

大変拙い連載でしたが、お読みいただけただけに本当にありがとうございます。またこの様な機会を頂戴したこれと編集部の皆様にも心から感謝申し上げます。

追伸:ハチ吉は4月で3歳になります。写真の頃より少しお太りになられて貴様ができましたが、日々元気に笑って過ごしています。

誰のせいでもないよ

